

平成 2 8 年度 第 1 回 北海道支社入札監視委員会審議概要

開催日及び場所	平成 2 8 年 7 月 4 日 (月) 北海道支社 3 階会議室	
委員 (五十音順、敬称略)	杉山 隆文 (北海道大学大学院工学研究院教授) 田村 亨 (北海道大学大学院工学研究院教授) 富岡 公治 (弁護士) 舟橋 健市 (公認会計士・税理士) 山本 哲生 (北海道大学大学院法学研究科教授) 吉見 宏 (北海道大学副学長 北海道大学大学院経済学研究科教授)	
審議対象期間	平成 2 7 年 1 0 月 1 日 ~ 平成 2 8 年 3 月 3 1 日	
抽出案件	総件数 4 件	備 考
発注工事	2 件	
・一般競争	- 件	発注工事なし
・条件付一般競争	- 件	発注工事なし
・拡大型指名競争	1 件	・道東自動車道 アネップ川橋補修工事
・基本契約	1 件	・道東自動車道 大夕張トンネル換気設備改造工事
発注調査等	1 件	・北海道横断自動車道 桃内丸山下地区高盛土安定解析業務
発注物品・役務	1 件	・平成 28・29 年度北海道支社広報の実施 に関する業務
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【入札監視統一事務局の報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見等なし <p>「工事審査実施状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道支社では一般競争入札や条件付一般競争入札がなく、全て拡大型指名競争入札となっている。拡大型指名競争入札が全国的にも増えてきている状況なのは分かるが、全国と比べ特異なことなのか。 <p>【入札・契約手続の運用状況】</p> <p>「工事等業務の発注状況」</p> <p>「競争参加資格停止等の運用状況」</p> <p>「一次苦情及び一次説明処理状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見等なし <p>【抽出事案の審議】</p> <p>「道東自動車道 アネップ川橋補修工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単価表において、断面修復などの項目や数量が小数点第二位までと細かく設定されているが、材料の仕様等について、企業側の自由度はないのか。 <p>「道東自動車道 大夕張トンネル換気設備改造工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本契約を本社で平成 23 年に締結しているが、この契約はいつまで続くのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道支社では、最近の入札状況より、不落・不調対策として当初から拡大型指名競争入札を実施しております。不調・不落の状況が改善されてくれば、条件付一般競争入札に戻すことなどを検討します。 <p>・単価表の数量の桁数については、共通仕様書に記載のとおりとしております。材料については、特記仕様書に示されている規定を満たせば、受注者で自由に材料を選択できることとなっております。</p> <p>なお、契約後条件変更の対象となれば、数量等を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動更新条項があるので、双方から申し出がなければ毎年更新されます。 <p>また、トンネルの換気設備等の更新に際し、現在の設備を納入したメーカーと異なるメーカーが受注した場合、本契約を終了することになります。</p>

<p>「北海道横断自動車道 桃内丸山下地区高盛土安定解析業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過年度に道路詳細設計を契約した者を随意契約の相手方としているが、今後も同様の業務が発生した場合、地区にかかわらず今回の業者に随意契約を行うのか。 ・随意契約の理由で、「高盛土安定対策工は既発注である忍路工事に含まれており、・・・」となっているが、忍路工事に含まれている業務を随意契約するのは、二重の費用となっていないか。 <p>「平成 28・29 年度北海道支社広報の実施に関する業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回応募者が 1 者だけでしたが、これは珍しいものなのか。 過去の応札で今回の受注者以外の応札があったのか。 また、落札率が 100%となっている理由は何か。 ・公募型プロポーザルにおいて、今回の仕様書が細部まで規定されている為、新規に参入しようとする者はアイデアを入れる要素が限られていると思われる。 また、今回の業務に含まれる効果検証についても、改善すべき事項などを提案してもらい、次回の仕様書に反映させることで応募者を増やすといった検討が必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の解析業務は、同じ地区の道路詳細設計で同様の解析業務を実施した者に限定して、随意契約を実施しております。 ・忍路工事の高盛土工安定対策工には工事費のみ計上されており、設計は含まれておりません。よって、費用の二重計上にはなっておりません。 ・本業務は平成 22 年度から実施していますが、昨年度までは複数の業者が応募しています。 平成 22 年度から平成 24 年度までの 3 年間は今回の受注者以外が受注し、平成 25 年度から平成 27 年度までの 3 年間は今回の受注者となっています。 落札率が 100%であるのは、公募型プロポーザル方式の入札公告で上限価格を公表しているためと史料されます。 ・ご意見を参考に今年度の状況を見ながら検討して参ります。
<p>【審議結果の報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札方式別に抽出した 4 件についての工事等の概要、業者選定理由、入札までの経緯の説明を受け、当委員会において審議したところ、適正に処理されています。 	

